

## 知床世界自然遺産地域保全事業(平成 30 年 10 月～12 月)

### (1) 多様性に富むしれとこの森を復元する事業

秋は、苗木を植えるのに最も適した季節です。この 10 月には、苗畑で何年も育てたトドマツの苗木 153 本を植樹祭に参加した皆さんの手で植えていただきました。また、11 月には、森の中から小さなトドマツの苗木を掘り取り、苗畑に移植する作業を行いました。今回掘り取った苗木は、数年後の植樹祭に向け、苗畑でしっかりと育てていきます(写真 1-1~4)。

その他、運動地各地の防鹿柵や作業道の巡視を行い、老朽化した箇所などの補修や整備を進めました。今年もボランティアの皆さんやインターンの学生など多くの方々のお手伝いをいただき、春から秋にかけての森づくりを進めることができました。12 月に入ると知床はもう本格的な冬の季節です。これからおよそ半年間、4 月の雪解けまで長い冬が続きます(写真 1-5~6)



写真 1-1. 植樹祭の準備をするボランティアの皆さん(2018年10月20日)。



写真 1-2. 92名が参加した植樹祭の様子(2018年10月21日)。



写真 1-3. トドマツの苗木の掘り取りの様子(2018年11月1日)。



写真 1-4. 掘り取ったトドマツの苗木を苗畑に移植するボランティアの皆さん(2018年11月1日)。



写真 1-5. 防鹿柵整備の様子（2018 年 10 月 25 日）。

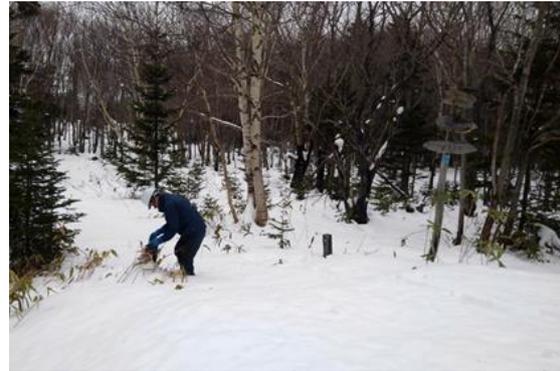


写真 1-6. 作業道ゲートの冬支度の様子（2018 年 12 月 17 日）。

## （2）世界遺産の価値を守り、伝える事業

### 1. 次世代へ知床の森をつなぐ活動への支援

知床の自然と 100 平方メートル運動の取り組みを伝えるため、地元の学校を中心に運動地での体験学習の引率などを行っています。10 月には斜里中学校の 1 年生 72 名が運動地を訪れ、森づくりの現場を見学し、運動の歴史と取り組みに触れる機会を持ちました（写真 2-1）。今年度も斜里町内の学校を始め、多く子どもたちに運動を伝える授業や体験学習を行いました。今後もこれらの受け入れを継続し、次世代への普及を進めます。

また、知床を訪れる観光客に向け、知床自然センターや 100 平方メートル運動ハウスにて知床の森づくりの様子をお伝えするスタッフトークを行いました（写真 2-2）。

この春から秋にかけて、100 平方メートル運動地を歩く散策路「しれとこ森づくりの道」を開設しました。10 月には、知床自然センターで開催したイベント「知床アウトドアフィルムフェス」のアクティビティのひとつとして、開拓当時の家屋などを巡る「開拓小屋コース」を多くの皆さんに散策していただき、開拓小屋では特製コーヒーを楽しんでいただく企画を行いました。同コースは、4 月末のオープンから 12 月上旬の終了までの約 7 か月間で 1,153 名の方々にご利用いただきました（写真 2-3~4）。



写真 2-1. 100 平方メートル運動ハウスにて運動参加者の斜里中学校 1 年生（2018 年 10 月 24 日）。



写真 2-2. 100 平方メートル運動ハウスでのスタッフトークの様子（2018 年 10 月 2 日）。



写真 2-3. 開拓小屋での喫茶の様子（2018 年 10 月 13 日）。



写真 2-4. 12 月の開拓家屋の様子（2018 年 12 月 19 日）。

## 2. ヒグマと人の共存を手助けする活動への支援

今四半期の 10 月から電気柵を撤去するまでの期間は、随時維持管理作業を行いました。11 月初旬には瀬石地区の海岸にクジラの死骸が漂着し、ヒグマが誘引される事態が発生しました。電気柵の設置区間であったため、ヒグマの侵入経路を調べたところ、電気柵が正常に稼働していなかった場所から侵入していたことが発覚しました（写真 2-5）。そのため、直ちに侵入箇所の電気柵を通電させて侵入経路を塞ぎました。しかし、ヒグマはその後電気柵を強引に突破して侵入していたようでした。クジラの死骸が回収されるとヒグマの侵入もなくなりました。改めてヒグマの食べ物に対する執着は、非常に強いことを認識させられました。

11 月末になるとヒグマの目撃もなくなったため、本格的に雪が積もり始める前に電気柵の撤去作業を行いました。11 月 27 日から作業を始め（写真 2-6）、12 月 6 日に全ての電気柵の撤去が終わりました（表 1）。撤去作業では、ラインは支柱から外して紐で束ねて地面に下ろし、グラスファイバー製のポールは斜面から滑ってくる雪の重みで折れてしまわないように抜いて束ねました。撤去後は来年度の再設置に向けて、電気柵で使用したバッテリーや資材のメンテナンスを行っています。



写真 2-5. ヒグマの侵入経路と電気柵。



写真 2-6. 電気柵撤去作業の様子。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。